



ルワンダで農業の支援活動

JICA海外協力隊 友澤芳美さん

JICA（独立行政法人国際協力機構）では、開発途上国の経済・社会の発展などを目的に、ボランティア事業を行っています。この事業の海外協力隊として、市内在住の友澤芳美さんがルワンダに11月から2年間、派遣されることとなりました。

農業労働者の収入が低く、消費者よりも困窮していることを知り、衝撃を受けた友澤さん。生涯を通して「世界の農村の生活をより良くしたい」と、ルワンダの農民を対象に収益向上に結びつく支援活動を行います。



9月14日、服部市長を表敬訪問した友澤さん（左）

村上緑地公園で彼岸花の鑑賞会が開催されました

9月17日から25日の間、村上緑地公園で「やちよ彼岸花まつり」が開催され、群生地に真っ赤な花が広がりました。17日、18日のイベント日にはキッチンカーの出店も。

村上緑地公園は、彼岸花の群生地として、（公財）八千代市地域振興財団と市民ボランティアの方々が、見守りと清掃などの活動をしています。



アゲハ蝶も蜜に誘われて

全日本学生テニス選手権（インカレ）で日本一に

八千代市出身 大学3年生 山崎郁美さん

8月15日から21日にかけて三重県・四日市テニスセンターで行われた、2022年度全日本学生テニス選手権大会（インカレ）で、亜細亜大学3年生で八千代市出身の山崎郁美さんが女子シングルスで優勝。

大学1年生でベスト4に入ってから、その結果を上回れず苦しい期間が続きましたが、約3か月の海外遠征に行き、パーソナルトレーニングを取り入れたり、コーチや両親、トレーナー、部員の仲間など、沢山のひととともに、常に自らの進化を追求して来た山崎さん。「学生日本一という結果に結びついたことを嬉しく感じています。今後

も、世界で活躍する選手になれるように、日々精進して行きます」と今後の目標や意気込みを語りました。



▲写真は本人提供

ミニ・ガイド

■第25回「水辺の風景画コンクール」作品展 11月1日(火)～6日(日)午前10時～午後6時、入館は午後5時30分まで。最終日は午後3時終了。もりんぴあこうづ（成田市公津の杜4-8）お問い合わせは（公財）印旛沼環境基金☎043-485-0397へ

■印旛沼環境基金公開講座～印旛沼と水利用～（全3回）印旛沼での水利用についての講座。第1回「印旛沼の水利用と水管理」11月12日(土)午後2時～4時、第2回「工業用水の利用、印旛沼と製鉄所の関わり、上水道から見た印旛沼の水質と浄水処理」11月26日(土)午後2時～4時、第3回「印旛沼と農業」12月10日(土)午後2時～4時。ミレニアムセンター佐倉ホール 各回定員45人(先着順)。全3回または、いずれかの会のみ申し込みも可能。申し込みは、10月17日(月)午前8時30分からメールで件名に「公開講座申込」、本文に参加希望回と氏名（ふりがな）、住所、連絡先電話番号を記載し、佐倉市役所生活環境課☎seikatsukankyo@city.sakura.lg.jp へ送信。※電

話での申し込みはできません お問い合わせは（公財）印旛沼環境基金☎043-485-0397へ

■精神障害者家族 対話と交流の集い 精神障害者の患者を身内に持つ家族を対象に、対話と交流の集いを開催します。講演者は、八千代病院診療部長で、習志野保健所嘱託医を務められている登坂真二先生をお迎えします。10月26日(水)午後1時30分～4時、プラッツ習志野（習志野中央公民館）北館音楽室1。申し込みは、電話かファクスで習志野八千代心の健康を守る会 渡邊☎453-6760へ

■女性向け再就職支援セミナー＆個別相談会（浦安市） 就職活動中の女性対象。就職活動の進め方や、多様な働き方、応募書類の書き方のコツやポイントが分かるセミナーです。11月21日(月)【セミナー】午前10時～正午 【個別相談】午後1時30分～4時（1枠30分、計4回）、浦安市役所10階協働会議室 セミナーは先着30人、個別相談は先着4人、託児あり（11月7日(月)までに要予約、先着5人） 要筆記用具。受給中の人は雇用保険受給資格者証持参。申し込み、お問い合わせは浦安市商工観光課☎047-712-6295へ

（平日午前8時30分～午後5時）

■自衛隊員募集 高等工科大学校生。男子で5年4月1日現在、17歳未満の者で、中卒（見込含）対象。受付期間は5年1月6日(金)まで。試験日は5年1月14日(土)、15日(日)。船橋出張所☎047-475-2084

■ジロー基金（八千代市民文化福祉基金）の助成団体を募集 選考の上、4団体以内に総額20万円以内を助成します。過去3年以内に助成を受けた団体は申し込みできません。①市内の子どもの対象とした福祉・教育団体などが行う事業や機材の購入、②市内の市民団体やグループが行う文化的な催しなど。申し込みは11月9日(水)までに、三井住友信託銀行☎03-5232-8910へ

■JA八千代市・秋の収穫祭 八千代市産の新米3種食べ比べや、コンテストに出品された農産物の販売などを行います。11月3日(祝)午前9時30分～午後3時、JA八千代市ファーマーズマーケット「よったいよ」前。店舗は午後6時まで営業。お問い合わせはJA八千代市ファーマーズマーケット「よったいよ」☎489-4147へ

八千代歌壇

鶴岡 美代子選

庭に咲くミニヒマワリは百あまり彼の地は如何に八千代は
真夏日 (八千代台北) 石川 静子
願いのせ七夕風船点となりあかねの空にすいこまれゆく
(八千代台東) 森野 豊作

菜園に初めて収穫した娘から茄子と胡瓜の写真が届く
(大和田新田) 増尾 克子
血管をさぐる指より目をそらせば壁の写真は美島海
(村 上) 新井 豊子
ひたすらに白き山梔子夕暮れの庭に浮きいでぬるき風受く
(八千代台北) 村田 一江

二十年前に逝きたる母なれど「母さん元気？」と姉より電
話来 (八千代台東) 伊藤 浩子
隙あらば金々々の亡者達世紀の祭典五右衛門笑う
(村上団地) 菅野 紀子

数匹に余る小魚嘴に巣へ戻る鳥テレビに映る
(勝 田 台) 杉本美恵子

選評 一首目、「ウクライナ」の名はないが、ウクライナを
憂えての歌である。戦時下でも畑いっぱいに咲いたと
いうヒマワリはウクライナの国花で、国旗の黄の色とも一説に
言われている。因みに青色は空と云う。結句は、八千代に
戻らずに、「と思うこの夏」とするの一案。二首目、点とな
った風船が願いを天に届けて呉れるような気持になるメルフェ
ンチックな歌である。三首目、「写メール」がいかに現代的で、
「初めて収穫した」喜びが読者にも伝わってくる。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

情報戦今日のホントも明日は嘘 上 高野 神津真智子
愛でられる花へ根っこが嫉妬する 大和田 羽生田はる
聞く身にもなつて欲しいと老いの妻 大和田新田 江頭 牛歩
座りすぎ立てぬとヒザが泣き崩れ 大和田 塔ヶ崎映智子
信頼の目と目で渡る交差点 八千代台東 木村 和夫
準備して待った台風右にそれ 勝 田 台 八巻ちほこ
折り紙に魔法をかけて夢の国 緑が丘 長壁 節子
綾取りの指の記憶に母の影 勝 田 台 小林きらら
蝉しぐれ晩夏おしむか秋近し 吉 橋 藤江 幸子
マスク越し情報源は目のひかり 米 本 西澤はるか
紙風船昭和の息を吹き入れる 村上団地 本荘たみこ

やちよ情報メール
防災・防犯・環境・火災・イベント・徘徊高齢者等・健康・市政
登録申し込み ☎yachiyoo@sg-m.jp <
QRコード